

企画提案 / ③ 企画概要 - タイトル



金山の道・百年の光。

二〇二五年、百周年という節目を迎える金山町。

この百年間で

生まれたもの、失ったもの、変わらぬに在るもの、刻々と変わりゆくもの。

山は、木は、清き水の流れる川は

どんな百年を見てきただろうか。

土地に伝わる幻のいきものは

この百年を見ているだろうか。

金山の百年を想う人たちが立つ場所には

どんな風が吹き、どんな空が見えるだろうか。

二〇二四年の秋、

金山の百年を祝う「百年祭」を開く。

その日に向かうまでに

金山の四季や街並みの移り変わり、

林業などの仕事や人の歴史、

町に関わる人々の暮らしや言葉に触れていく。

美しく古びてきたこの町と、そこに息づくあらゆる人の温かさ。
すべてを慈しみながら、

今のわたしたちだからできる「金山町百年」の残り方を。

企画提案 / ③ 企画概要 - ストーリー

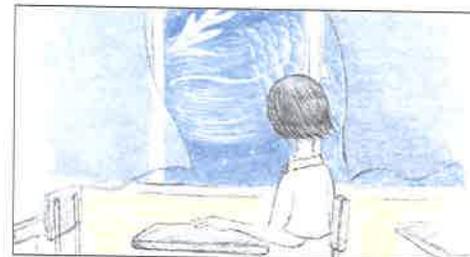
STORY

夏の始まりに「伝説の竜馬」を見た中学生。他県から移り住み、林業を愛する青年。ニラ農家を営みながら金山の変化を見守ってきた老夫婦。3組の登場人物を軸に、町民の日常と美しい街並みや自然、四季や歴史、それぞれのインタビューなどドキュメンタリー要素を織り交ぜながら神秘的なストーリーと融合します。終盤、鈴の音に導かれ一つの広場に集う町民たちは百年の歴史とこれからの金山に思いを馳せ、百一個めの光を灯します。町民参加型ショートフィルムです。

一学期の終わり、終業式を終えた中学生。

教室で一人ぼっちしていると、微かに鈴のような音が聴こえた気がした。
窓の外に視線を向けた瞬間、白く美しい不思議な生き物が目の前を横切って行った。
「竜馬を見た。14歳の夏がはじまった」

終業式の日に見た不思議な生き物が気になる中学生は、歴史の資料を集め始める。
そこで調べ物をするうちに、50年前に14歳だったある生徒の作文を見つける。
その生徒の金山町に対する思いに触れたことをきっかけに、自分のまだ知らない「金山を知る旅」に出る。



今日も山を眺め、森に入り、大きな杉の木に向き合う青年。

森守ることに誇りを持ち、丁寧に仕事をする青年は、自然だけでなく金山の街並みにも思いがある。
力強い金山杉によって作られた、金山型住宅やきごころ橋、歴史ある建造物。
それらから成る美しい風景が『街並み（景観）づくり100年運動』という
町民の努力の積み重ねであることを彼は知っている。
ある日、大美輪の大杉を見上げていると美しい鈴の音が聞こえる。
「金山は神秘的な場所だ」



長年、金山でニラ農家を営む夫婦。夜も明けぬうちから畑に出る。

神室山から流れる清らかな水に感謝しながら、金山を農業で支える仲間たちと優しい日々を送る。
その暮らしには、変わらぬものの尊さもあれば、変わりゆくものの儚さもある。
あたりがうすすらと明るくなってきた頃、ふと山の方へ目をやると、真っ白な霧が大きくうねりながら泳いでいた。
シャラン... 鈴が鳴った。
「もうすぐ金山が100年になる」



企画提案 / ③ 企画概要 - 映像の構成要素

雄大な金山町の四季の移ろいや、美しく歴史的な街並みを背景にファンタジー要素を織り交ぜたストーリーで構成します。



歴史ある町の文化や人々の繋がり、『街並み（景観）づくり 100 年運動』によって継承されてきた景色を美しく描き出します。映画制作に使用されるカメラでの撮影やドローンによる空撮等を取り入れ、視聴者に飽きさせない絵づくりを行います。



映像には町内各世代の短いインタビューを挿入することで、過去とこれからの未来を結んでいく構成とします。最終場面では町を行燈が彩る『金山百年祭』を撮影し、町民参加型映像を目指します（P09 で詳しく説明）。



企画提案 / ③ 企画概要 - 過去素材の活用

企画制作にあたっては過去の町報などから要素を抽出しました。町制施行100周年の歴史とそこに息づいてきた文化、人々の生活を振り返るための資料としてこれらを活用したいと考えています。町の全景を表したイラスト（画面左下）などを使用したアニメーション展開などについても検討します。



《アーカイブ映像について》

放送局へニュース映像のアーカイブを問い合わせたところアーカイブ映像の貸し出しの了解は頂いております。(要貸出料・著作権の譲渡はNG)

一番古いニュース
映像としては...

YBC 山形放送 | 1961年『金山美林伐採』

YTS 山形テレビ | 1975年『県北水害で衆議院の災害調査団』

企画提案 / ③ 企画概要 - 金山百年祭

そしてシャラン、シャランと鳴っていた鈴の音は百年祭へと繋がっていく。

有屋少年番楽や明安子ども歌舞伎の披露、

プロジェクターに映し出される金山にまつわる昔の写真、今の写真。

郷土料理がふるまわれたり、山車が飾られていたり。

おじいちゃんおばあちゃんが昔話をし、新しく来た若者たちが聞いている。

中学生も青年も老夫婦も、笑っている。

中央に置かれたピアノの前に北村露さんが座り、「百年への思い」を込めた歌を歌い始める。

皆、歌を聴きながら、これまで過ごしてきた時間や、金山のこれからについて考える。

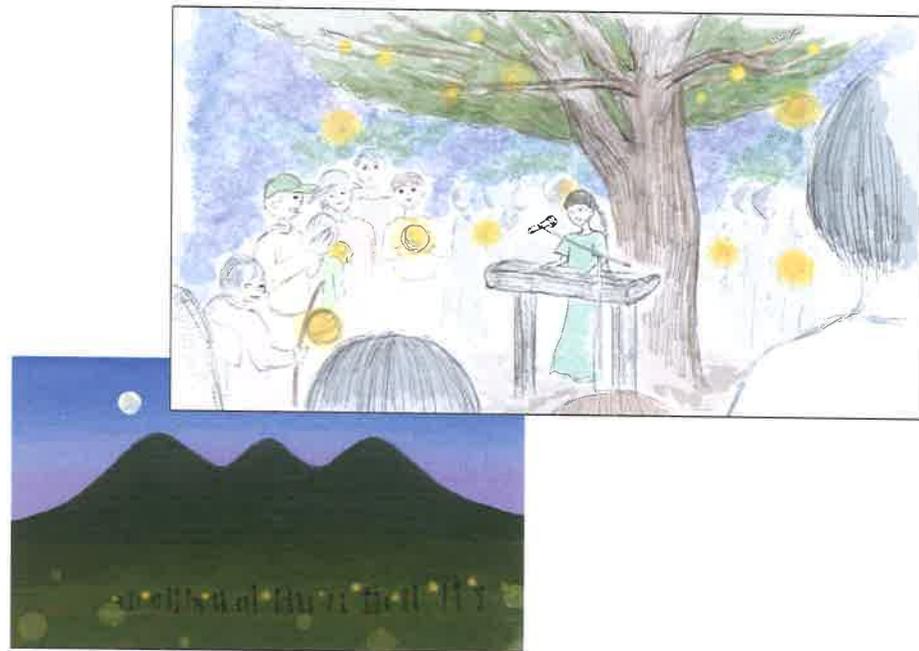
そしてそれぞれが100個の行燈を手にした後、最後に百一個目に光を灯す。

その光に鈴を下げながら金山の道を運んで帰っていく。

再び鈴が鳴る。中学生は山の方を振り返り優しく微笑む。 終

※金山百年祭は架空のイベントです。撮影ロケーション、備品等については実現可能な範囲を協議しつつ進めます。

例：金山祭り前後のタイミングで北村さんのミニライブを開催。併せて撮影を行う等。



- 金山町の美しさを活かしつつ、過去の歴史を振り返りながら未来の物語へと繋ぐストーリー構成で制作します。
- 金山町での経験豊富なチームが撮影をリード。最適なロケーション選定やスムーズな制作進行が可能です。
- 有名アーティストのMV作品を数多く手がける企画演出チームがバックアップ。作品クオリティを担保します。
- 山形出身のシンガーソングライターによる書き下ろしの楽曲を使用。作品に彩りを添えます。

3/21